

高岡 尚先生を送ることば

英文学科 工藤利彦

本学、女子短期大学部経営学科教授の高岡尚先生は、平成19年3月末日をもってご定年をお迎えになり、惜しまれつつご退職になります。

先生は昭和11年11月23日に京都にてお生まれになり、昭和35年3月上智大学文学部中世哲学科、昭和37年3月同大学神学部神学科をご卒業され、引き続き上智大学大学院神学研究科神学専攻修士課程へ進学されて昭和39年3月に同課程を修了されました。詳しくは略歴を参照くださるものとして、本学には英文学科、国文学科の二学科構成だった女子短期大学部が昭和57年4月に文化学科と経営学科管理専攻・秘書専攻の二専攻が設置されるのに伴って、同年1月より女子短期大学部教授として赴任されました。

本学に赴任された高岡先生の当初の所属は、教養部に相当する一般教育でした。講義という教育業務の他に、先生は女子短期大学部教務委員や入試委員などの重要な校務分掌を度々担われてこられました。その中でも長くご苦労されたのは、当時所属教員8名と一学科に相当する規模であった一般教育の主任業務でした。先生は女子短期大学部の教養教育の取りまとめ役としてよくお働きくださいました。平成9年4月に国文学科・文化学科の学生定員をもって大学の文化学部へ転換改組することで、短期大学部が改めて二学科体制になる際のカリキュラム再編作業では、共通科目カリキュラムの組立にも大変ご尽力なされました。このときの組織改編に伴って、全学の教養部的な組織は解体され、女子短期大学部でも一般教育教員組織は解消され、所属教員は英文学科か経営学科二専攻のいずれかに分属することとなりました。このとき、高岡先生は英文学科所属となりました。その後、短期大学部内の教員配置換えのために平成14年4月より経営学科管理専攻へと移られて、今日に至ります。学科・専攻への分属後は、ご専

門の哲学、倫理学や西洋思想史の講義に加えて、ゼミナールを担当され学生の教育・指導に当たられました。

先生は、北海道基督教学会、中世哲学会、日本クザーヌス学会、北海道哲学会、日本基督教学会、日本比較思想学会、京都ヘーゲル読書会などに所属され、専門の研究を続けてこられました。先生のご研究は時期的にも内容的にも大きく分けてトーマス・アクィナスに関する研究、ニコラウス・クザーヌスに関する研究、ロバート・グローステストに関連した研究の三つに分けられます（研究業績一覧 参照）。先生は現在に至るまで、こつこつとご研究をお続けになっておられて、近々研究論文の発表予約もなされたと聞いております。こうした先生の姿勢には本当に頭の下がる思いがいたします。

キリスト教哲学をご専門になさっていることから想像される厳しい修道僧とは逆に、先生は、外見もそして実際にも温厚を絵に描いたようなお方で、ことばの端々に出自の良さが滲み出ていらっしやいます。しかもそのことを自慢する事もなく、誰にでも優しく接して下さいます。先生のご趣味は、単なるオーディオ趣味を超えて、年代物の真空管アンプとスピーカーあるいは蓄音機といった装置で、時代を超えた名演奏をお聴きになることと、写真撮影です。前者のご趣味は、本学卒業生のオーディオ・コーディネーター片山隆晴氏（「札幌音蔵」経営）の指南の下、究極の装置を入手し、歴史的な名演といわれたアナログ・レコード盤を集めては日頃音楽を楽しまれています。高岡先生は、特殊相対性理論で有名なアインシュタインが鍵盤を叩いたこともあるという由緒あるグランドピアノで、幼少の頃から練習を重ねられて来られ、ピアノを巧みにお弾きになられます。そのためか、お話の端々に音楽の楽しみ方にも私どもには計り知れない奥深さを感じます。現在お持ちのオーディオ装置は日々成長していて、これで音楽を再生することは無上の喜びと話されます。もう一つのご趣味の写真撮影に関しては、90年代初めオートフォーカス一眼レフカメラ隆盛の頃のことです。先生も中学生の頃からその写りに強い印象をお持ちだったというツアイス・レンズを使ったマニュアルフォーカスの

Contax を筆者がお勧めできたことは、私にとって、自慢のことです。また、先生はこのカメラを使っては自然風景を銀塩フィルムで切り取るような写真をお撮りになります。撮影のための山行きに備えて、講義の合間には大学周辺の原始林を歩いては足腰を鍛えていらっしゃるとのことでした。

これから大学や原始林で先生のお姿を見かけられなくなるのは大変寂しいことではありますが、高岡先生の専門的研究はもちろん、ご趣味の音楽鑑賞、写真撮影と充実した毎日が続くということであれば、これはまさに私どもにとっても喜ばしいことであります。

これまでの高岡先生の本学女子短期大学部への多大なご尽力に対して心から感謝申し上げるとともに、先生のご健康とご多幸を祈念して、送別の辞とさせていただきます。